

まちの記憶をたどる

ビール・味噌 麦のみち

2016年9月14日(水)
13:00~18:00

バスと
徒歩で
行く



近年話題を集めています。民有志が行っている麦味噌を見直す活動が昭和まで続いた歴史と味をPRするため市た時代がありました。200年近く前から

かつて武蔵野に広がっていた麦畑。旧十二月田村(現川口市)周辺で優良な原料麦がとれ、江戸(東京)に隣接していたことから、川口にも味噌醸造業が栄え

もう一つ、まちの顔として知られていたのが「サツポロビール埼玉工場」。大正時代から2003年まで操業し、閉鎖後の跡地に当館、アトリアが建てられました。工場の地盤を支えてきた松杭を床材に使用し、利用者が様々な表現と出会うアート施設に生まれ変わってから10周年を迎えます。川口く埼玉と縁の深い「麦」。市内に伝わる食文化ゆかりの地をバスと徒歩でたどり、まちの魅力を再発見します。



◀リボンシティ(川口市並木元町)
サツポロビール埼玉工場跡地に建設された商業・文化の複合都市。アリオ川口やアトリアを含む。



▲社会福祉法人ごきげんらいぶ(川口市西新井宿)
株式会社アライとともに麦味噌復刻活動に参加し「川口御成道みそ」を製造している福祉施設。



▲旧田中家住宅(川口市末広)
登録有形文化財の洋風住宅。麦味噌の醸造業で財を成した4代目田中徳兵衛により大正時代に建てられた。



◀株式会社もといち(川口市元郷)
「上田(田中徳兵衛)」とともに麦味噌の代表的な銘柄であった「もといち(池田幸次郎)」の工場跡。

講師:新井俊雄(みそソムリエ/株式会社アライ代表取締役)
現地解説:井出信男(社会福祉法人ごきげんらいぶ代表)
池田幸一(株式会社もといち代表取締役)
対象:一般20人/参加費:1人500円(みそワークショップ材料費)

申込先:〒332-0033 埼玉県川口市並木元町1-76
川口市立アートギャラリー・アトリア「ワークショップ・講座」係
Fax:048-240-0525 eメール:sommer2016@atlia.jp
申込締切:8月31日(水)必着

申込方法:以下の①~⑤を、はがき・FAX・eメールのいずれかにてお送りください。応募者多数の場合は抽選とし、締切日から一週間ほどの後、通知はがきを発送いたします。
①イベント名 ②名前(ふりがな) ③年齢 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号(緊急の際に連絡がとれるもの)

ご応募までご参加に際しては、以下の点をお守りください。違反された場合、お申込みをお断りする場合がございます。
※ご家族(姉妹兄弟)に限り、1通の申込みに併記可能です。
※参加費は当日に受付でお支払いください。
※受付の場所と時間は当選者におはがきにてお知らせします。
※メールアドレスはイベント申込みにのみ有効です。内容・受付に関するお問合せは電話・窓口でのみ承ります。